

2024年4月25日(新様式第2版)

医療機器のクラス:管理医療機器

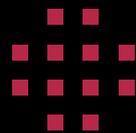
類別:家庭用電気治療器 一般的名称:電位・温熱組合せ家庭用医療機器(71001000)

販売名:ヘルシオンN

添付文書 保管用
医療機器認証番号
303AKBZX00062000



電位・温熱組合せ家庭用医療機器 [エア-]ヘルシオン

 **AiR** HEALTHYON

[取扱説明書]



お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく使用してください。
この取扱説明書は必ず保管してください。

もくじ

効果	P1
各部の名称	P2
各部の名称とはたらき	P3～P4
安全上のご注意	P5～P11
治療の開始	P12
使い方	P13～P26
異常のときは	P27
お知らせ機能について	P27
お手入れ・保管方法	P28
故障かなと思ったら	P29
定格・仕様	P30
保証とアフターサービス	P30

効果

本製品の温熱治療や電位治療では以下の効果が期待できます。

温熱治療

電熱による温熱効果

- ・血行を良くする
- ・胃腸のはたらきを活発にする
- ・疲労を回復する
- ・神経痛、筋肉痛の痛みを緩和する
- ・筋肉の疲れをとる
- ・筋肉のこりをほぐす

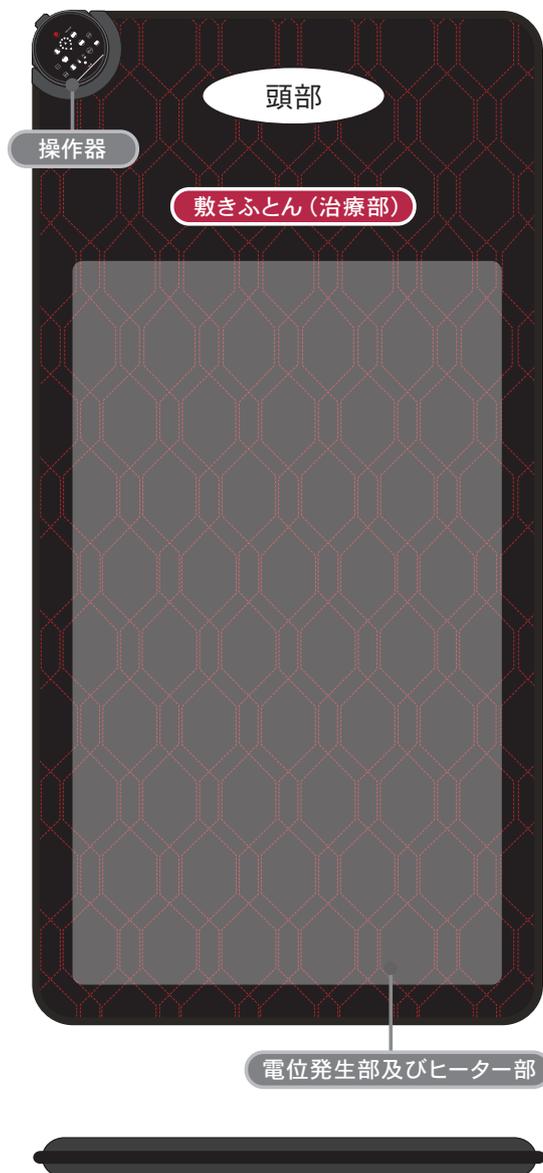
電位治療

- ・頭痛の緩解
- ・肩こりの緩解
- ・不眠症の緩解
- ・慢性便秘の緩解

各部の名称

敷きふとん (治療部)

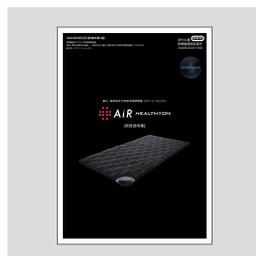
[エアーヘルシオン]



付属品



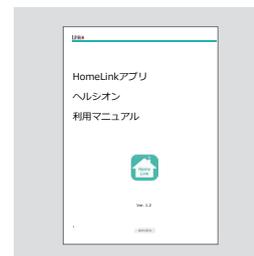
専用電源コード



取扱説明書



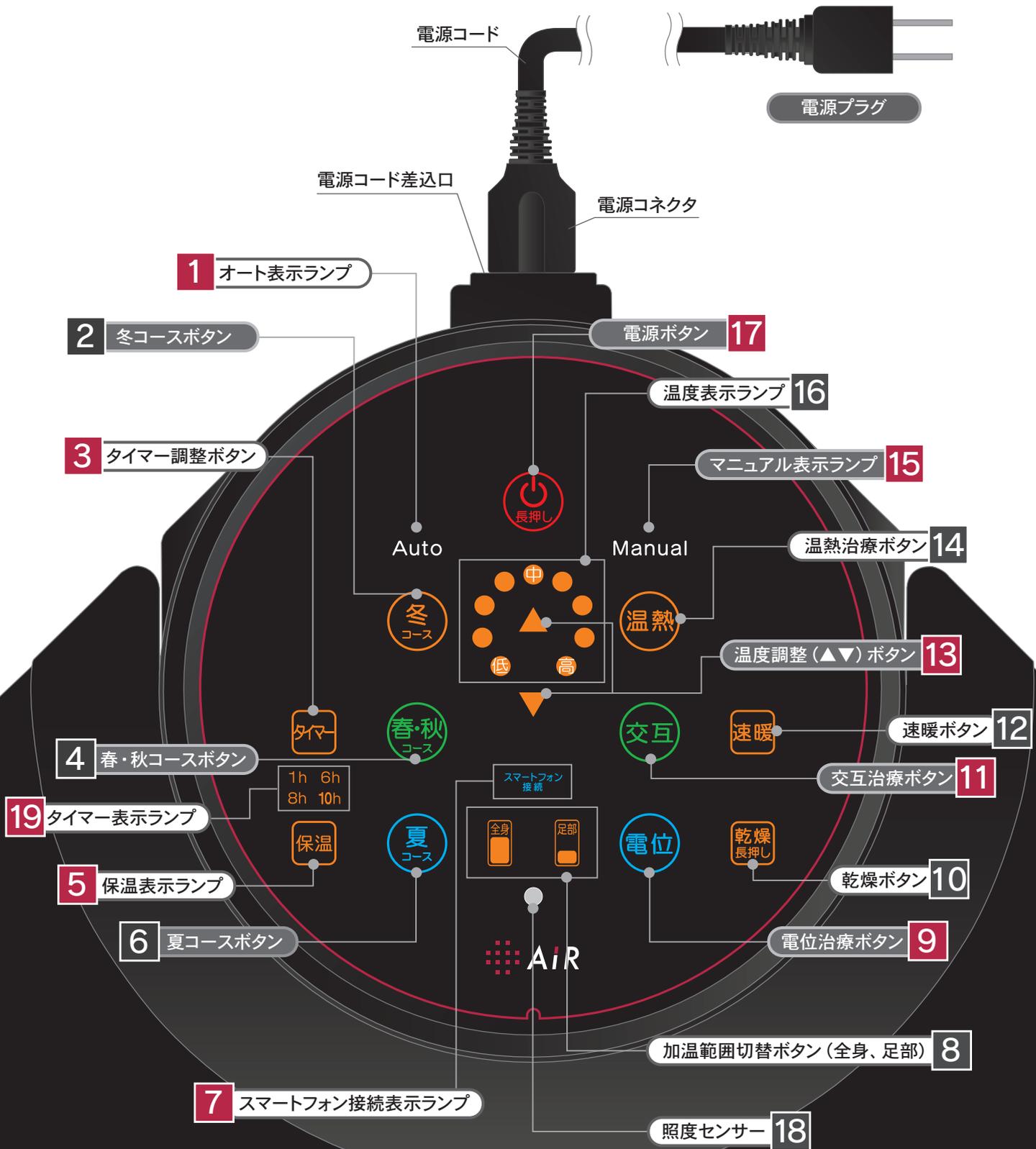
保証書



HomeLinkアプリ
利用マニュアル

各部の名称とはたらき

■ 操作器 ■



各部の名称とはたらき

- 1 オート表示ランプ**
Auto設定使用時に点灯するランプです
冬コース、春・秋コース、または夏コースを使用時に点灯するランプです
- 2 冬コースボタン**
冬コースを行なうときに使用するボタンです
- 3 タイマー調整ボタン**
動作終了の時間を設定するボタンです
1、6、8、10時間の設定ができます
- 4 春・秋コースボタン**
春・秋コースを行なうときに使用するボタンです
- 5 保温表示ランプ**
保温状態の時に点灯するランプです
- 6 夏コースボタン**
夏コースを行なうときに使用するボタンです
- 7 スマートフォン接続表示ランプ**
スマートフォンに接続されているときに点灯するランプです
- 8 加温範囲切替ボタン**
温熱治療または保温をおこなう範囲（全身・足部）を選択するときに使用するボタンです
- 9 電位治療ボタン**
電位治療のみを行うときに使用するボタンです
※長押しすると操作音の入/切ができます
- 10 乾燥ボタン**
敷きふとん（治療部）を暖めて湿気をとるときに使用するボタンです
- 11 交互治療ボタン**
電位・温熱治療を交互に行うときに使用するボタンです
- 12 速暖ボタン**
早く暖めたいときに使用するボタンです
（P26速暖機能参照）
- 13 温度調整（▲▼）ボタン**
温熱治療の温度を調整するときに使用するボタンです
「低」・「中」・「高」の間で調整できます
※保温機能作動中は、温度が固定されるため
温度調整ボタンは消灯します
- 14 温熱治療ボタン**
温熱治療のみを行うときに使用するボタンです
- 15 マニュアル表示ランプ**
Manual設定使用時に点灯するランプです
電位治療、温熱治療、交互治療を使用時に点灯するランプです
- 16 温度表示ランプ**
温熱治療で設定した温度を表示するランプです
- 17 電源ボタン**
電源を入/切するときに使用するボタンです
- 18 照度センサー**
周囲の明るさを検知するセンサーです
（P26調光機能参照）
- 19 タイマー表示ランプ**
設定した動作終了の時間を表示するランプです

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するためのものです。
- 次の表示区分は、表示内容を守らず誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 **危険**

この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。

 **警告**

この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

 **注意**

この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容です。

次の図記号の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示します。
 ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
 水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
 必ず守る	強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

※いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
※この取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる人がいつでも見ることができる場所に保管してください。

危険

使用しないでください。



禁止

下記のような医用電子機器等を使用している人は、本器を使用しないでください。誤動作をまねくおそれがあります。

- ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器。
- 人工心肺等の生命維持用医用電気機器を使用している人。
- 心電計等の装着型医用電気機器を使用している人。

次の人は事故・体調不良や低温やけどのおそれがありますので本器を使用しないでください。

- 心臓病と診断され、日常の過激な運動を制限されている人。
- 事故のおそれがありますので子供には使用させないでください。
(ただし、保護者、医師又は専門家の監督下で使用する場合はその限りではありません。)また、本製品の上に乗らせたり、遊ばせたりしないでください。
- 乳幼児、身体の不自由な方、意思表示のできない方は使用しないでください。
- 眠気を誘う薬(睡眠薬・風邪薬など)を服用された人や酩酊(めいてい)状態の人。



警告

次の人は、ご使用前に医師にご相談ください。また、(10)から(13)に該当する方が1時間を超えて使用する場合は医師にご相談ください。

- | | |
|--|------------------------------------|
| (1) 悪性腫瘍のある人 | (7) 脊椎の骨折、捻挫、肉離れなど、急性[とう(疼)痛性]疾患の人 |
| (2) 心臓に障害のある人 | (8) 温度感覚喪失が認められる人
(温熱治療を行なう場合) |
| (3) 妊娠初期の不安定期又は出産直後の人 | (9) 低温やけどをしたことのある人
(温熱治療を行なう場合) |
| (4) 糖尿病などによる高度な末しょう(梢)循環障害による知覚障害のある人 | (10) 高血圧の人 |
| (5) 体温38℃以上(有熱期)の人
例1. 急性炎症症状[けん(倦)怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期 | (11) 不整脈のある人 |
| 例2. 衰弱している場合 | (12) 睡眠時無呼吸症の人 |
| (6) 安静を必要とする人 | (13) ぜん(喘)息の人 |



必ず守る

事故、体調不良や低温やけどのおそれがあります。

- 使用中気分が悪くなったり、身体や肌に異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。
- 必ず治療を行っている使用者自身で操作し、他の人が勝手に操作しないでください。

誤動作による故障・事故・低温やけどのおそれがあります。

次のような方がお使いのときは、特にご注意下さい。

- 自分で温度調節のできない方
- 皮ふの感覚が弱い方
- 深酒をされた方
- 疲労の激しい方

比較的低い温度でも長時間皮ふの同じ箇所に触れていると低温やけどをおこすことがあります。設定温度、使用時間を調整するなど取扱いに注意してください。

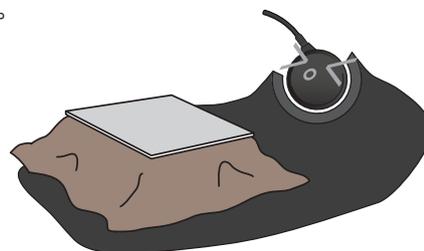
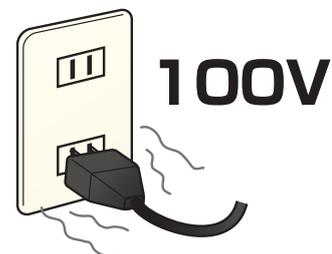
感電・火災・発火の原因となります。

- 必ず交流100Vで使用してください。

⚠ 注意

感電・火災・発火の原因となります。

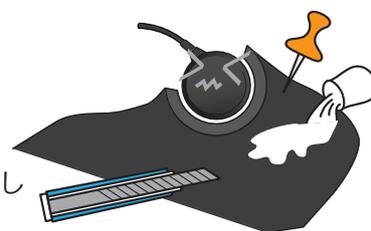
- 電源コードを家具やベッド等にはさみ込む、巻きつける、無理に曲げるなどして使用しないでください。
- 電源コード、敷きふとん（治療部）を傷つける、破損、加工、無理に曲げる、引張る、ねじる行為はしないでください。
また、重いものを載せる、はさみ込むなどはしないでください。
- タコ足配線をしないでください。
- 人体の治療目的以外に使用しないでください。
- 他の治療器と同時に使用しないでください。
- 電気コタツ、電気カーペット、電気毛布等の暖房器具とは同時に使用しないでください。
- 寝タバコはしないでください。



禁止

感電・故障の原因となります。

- 操作器、敷きふとん（治療部）を水につける、水をかける行為はしないでください。
- 敷きふとん（治療部）が濡れている場合は使用しないでください。
- 敷きふとん（治療部）をピンや針金などの金属類で傷つけないでください。
- 金属繊維や炭素繊維、木炭等の導電性材料が使用されたものとは一緒に使用しないでください。
- 操作器を落とす、ふみつける行為はしないでください。
- 一人用の家庭用電位・温熱組合せ治療器の為、複数人が同時に使用しないでください。
- お風呂あがりや洗髪後など、髪が濡れた状態、濡れた身体のまま、濡れた衣類等を着た状態で使用しないでください。
- 浴室など湿気の多い部屋でご使用しないでください。



⚠️ 注意

ご使用の前に



禁止

異常発熱・発火の原因となります。

- 敷きふとん（治療部）を折り曲げる、折りたたむ、丸めた状態で電源を入れ、使用しないでください。
- 敷きふとん（治療部）を踏みつける、身体に巻きつけて使用しないでください。



ご使用前に必ず点検をしてください。



必ず守る

- 操作ボタンやタイマーなどが正常に作動することを確認してください。
- しばらく使用しなかった治療器を使用するときは正常かつ安全に作動することを確認してください。
- 電源プラグには、ゴミや埃が付いていないか確認してください。
- 電源プラグや電源コネクタは容易に離脱しないよう正しく確実に接続してください。
- 敷きふとん（治療部）や電源コードが損傷、断線、破損しているときは使用せず、お買上げの販売店又は西川株式会社お客様相談室に修理を依頼してください。



⚠️ 注意

ご使用中に



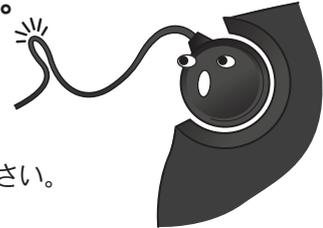
禁止

低温やけどのおそれがあります。

- 低温やけどのおそれがある為、高温設定で長時間使用しないでください。

コード破損・発火・感電の原因となります。

- 電源コード、敷きふとん（治療部）を傷つける、破損、加工、無理に曲げる、引張る、ねじる、巻きつける行為はしないでください。
- 重いものを載せる、はさみ込む行為はしないでください。
- ペット及び動物には使用しないでください。



感電・異常発熱・故障の原因となります。

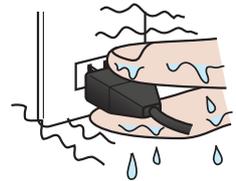
- 操作器や敷きふとん（治療部）を暖房器具などの熱源の近くに置かないでください。また操作器を布で包む行為や、ふとんの中に入れて使用しないでください。
- 操作器に物を落とす、重いものを載せる行為はしないでください。
- ご使用時間は連続10時間を超えないでください。
- 敷きふとん（治療部）に金属を接触させないでください。
- 犬や猫などペット類のそばで使用しないでください。



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

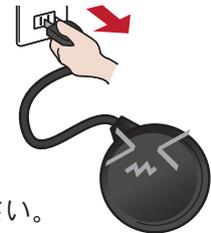
- 電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。



電源プラグ
を抜く

感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

- 動かない、異常に熱くなる等がある場合は、事故防止のため、すぐに電源プラグを抜いて、お買上げの販売店又は西川株式会社お客様相談室に必ず点検・修理をご依頼ください。
- 停電のときは直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 機器に故障が発見された場合は、使用を直ちに中止し、電源を切ってください。
- 身体に異常を感じたときには、使用を直ちに中止してください。



⚠ 注意

ご使用後の保管について

 <p>分解禁止</p>	<p>発火・故障・事故の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none">●絶対に分解・修理・改造は行わないでください。 
 <p>禁止</p>	<p>故障・発火の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none">●操作器及び敷きふとん（治療部）の上でアイロンをかけるなど、発熱器具をおかないでください。●ナフタリンなど防虫剤を使用しないでください。●電源プラグ及びコネクタのピンにゴミを付着させないでください。●電源ボタンをオフ（切り）にした後、電源コードを長時間差したままにせず、必ずコンセントから抜いてください。
 <p>電源プラグ を抜く</p>	<p>感電・発火・故障の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none">●電源プラグや電源コネクタを取り外すときは、コードを持って引き抜くなど、コードの接続部に無理な力を加えないでください  <hr/> <p>感電や漏電・けがの恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">●しばらく使用しない場合、またはお手入れする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 <p>必ず守る</p>	<p>故障の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none">●操作器及び敷きふとん（治療部）は次回の使用に支障のないように清潔にし、湿気の少ないところに整理、保管してください。 

使用しても効果が現れない場合は、医師又は専門家にご相談ください。

注意

取扱い上の注意



必ず守る

- 破棄する場合は、地域で定める条例に従ってください。
- 電源コードの破損や、機器が故障した場合は、勝手に修理などせず、お買上げの販売店又は西川株式会社お客様相談室にご連絡ください。

保守・点検に係る事項



必ず守る

- 敷きふとん（治療部）の汚れは薄めた中性洗剤をつけた布で洗浄してください。その後、よく絞った布で拭き取り、自然乾燥させてください。
- 操作器の汚れは柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは石けん液を少し含ませた布で拭き取ってください。
- 操作器または、敷きふとん（治療部）に水やお茶等の液体をこぼしたときは使用せずに、お買上げの販売店又は西川株式会社お客様相談室に点検を依頼してください。ペットが尿をしてしまった場合も同様に点検を受けてください。



禁止

- 敷きふとん（治療部）の洗濯・クリーニングは絶対にしないでください。

治療の開始

- 1 操作器を敷きふとん(治療部)のマットケースに差し込み接続してください。

※敷きふとん(治療部)が湿気を含んでいる場合は、乾燥ボタンを押して湿気を取り除いてください。
(25ページの乾燥機能を参照してください。)

※操作器をマットケースに接続しないと電源が入りません。

※ヘルシオンは敷きふとん(治療部)自体を反転して取付けた状態でも使用することができます。

※敷きふとん(治療部)のサイズに応じて操作器が異なります。
操作器裏面の識別シール及び敷ふとんの品名をご確認ください。



ボタンを押して
手前に引き抜い
てください



敷きふとん(治療部)を
反転させて使用できます

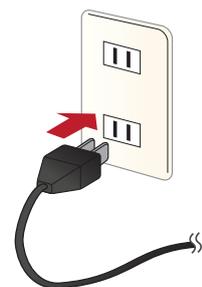


カチッとなるまで
差し込んでください

- 2 電源コネクタを操作器の電源コード差込口に接続してください。

- 3 電源プラグを商用交流100V(50/60Hz)のコンセントに差し込み接続してください。

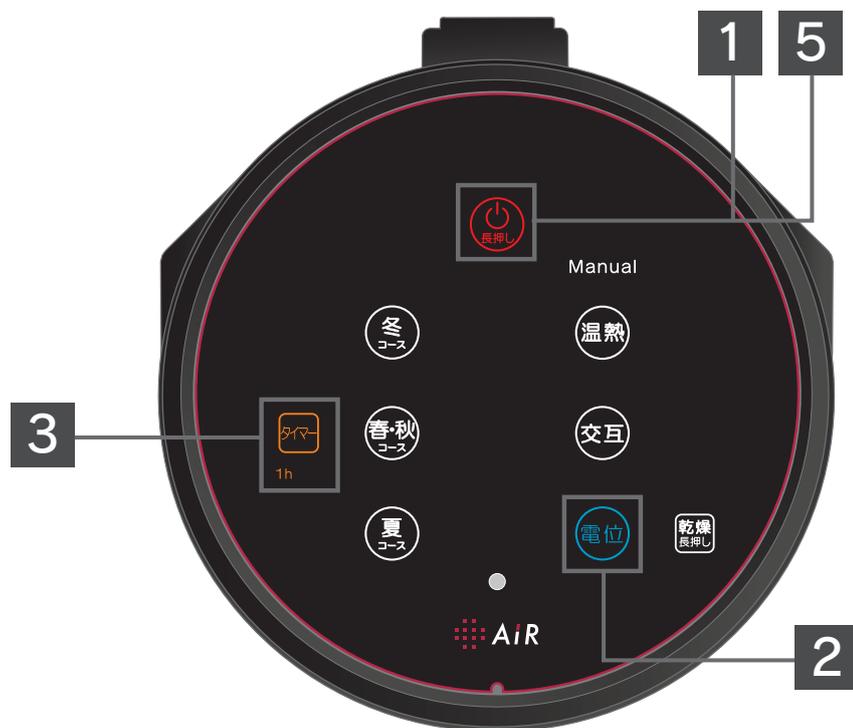
※電源コードを差した状態でも操作器に熱をもつことがあります。
異常ではありませんので安全上問題なく使用できます。



使い方

電位 電位治療

電位治療のみをおこなうモードです



1 電源ボタン  を「ピッ」と音がするまで長押しすると前回設定した内容で、治療を開始します。

2 電位治療のみをおこなう場合は、電位治療ボタン  を押してください。「ピッ」と音がして電位治療ボタンのランプ (青) が点灯し、治療を開始します。同時にタイマー表示ランプのいずれかのランプ (橙) が点灯します。

設定後、30秒経つと電源ボタン  以外のランプが消灯します。
操作をおこなう場合は、電源ボタン  を押してください。
※長押しすると電源が切れます。

3 治療時間を変更する場合は、タイマー調整ボタン  を押して、1, 6, 8時間のいずれかの時間を選択します。
※電位治療の場合、10時間の設定はできません。

使い方

- 4 頭を操作器側にして敷きふとん（治療部）の上に横になります。

※ご使用中は操作器に多少熱をもちますが、異常ではありません。



- 5 治療時間が終了すると、自動的に電源が切れます。
途中で治療を中止したいときは、電源ボタン  を「ピー、ピー」と音がするまで長押しして、電源を切ってください。

- 6 ご使用後は電源プラグを抜いてください。

電位治療をおこなう上でのご注意

使い始めの1～2週間は、治療時間設定1時間でのご使用をおすすめします。
その後は、治療モード・治療時間を体調に合わせてご設定ください。

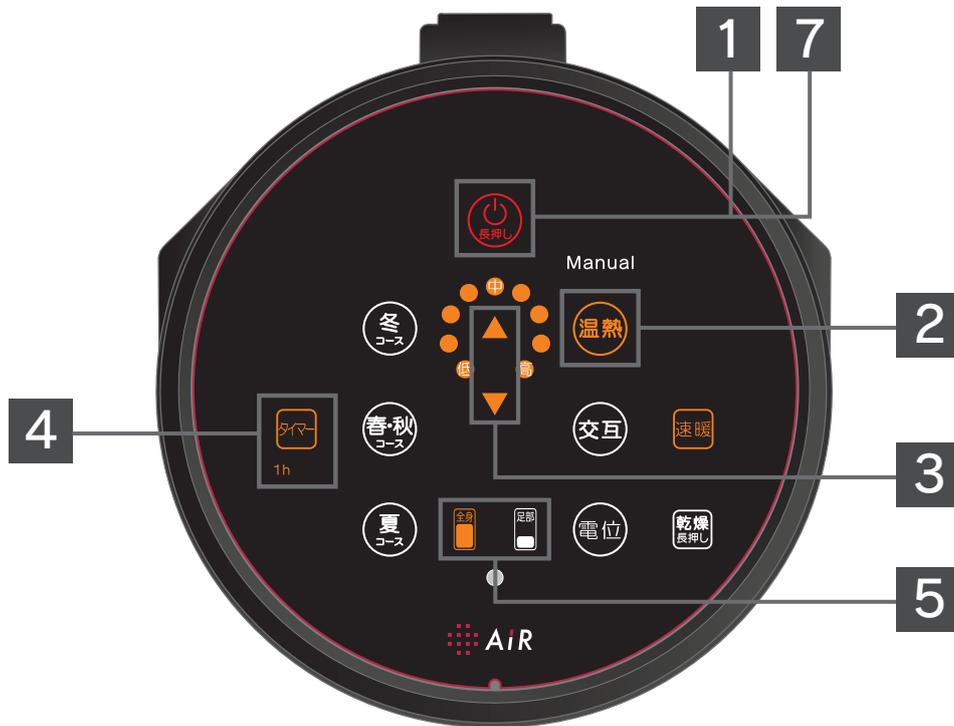
電位治療による反応について

電位治療を使用すると、人によっては始め湯あたり（温泉につかり過ぎて疲れたような状態）に似た症状や、下痢などの症状になることがあります。
この症状が強過ぎて不快な場合は、1～2日治療を休み、その後は体調にあわせてご使用してください。

使い方

温熱 温熱治療

温熱治療のみをおこなうモードです



1 電源ボタン (電源ボタン) を「ピッ」と音がするまで長押しすると前回設定した内容で、治療を開始します。

2 温熱治療のみをおこなう場合は、温熱治療ボタン (温熱治療ボタン) を押してください。「ピッ」と音がして温熱治療ボタンのランプ (ランプ) が点灯し、治療を開始します。同時にタイマー表示ランプのいずれかのランプ (ランプ)、温度調整ボタン (温度調整ボタン)、加温範囲切替ボタン (加温範囲切替ボタン) が点灯します。

設定後、30秒経つと電源ボタン (電源ボタン) 以外のランプが消灯します。
操作をおこなう場合は、電源ボタン (電源ボタン) を押してください。
※長押しすると電源が切れます。

3 治療温度を変更する場合は、温度調整 (▲▼) ボタンを押して、お好みの温度に設定してください。

※設定温度に達するまで速暖機能が作動します。
※体調に応じてご希望の出力に設定してください。
※開始時のみ速暖が自動で入ります。(26ページ速暖機能参照)

使い方

- 4 治療時間を変更する場合は、タイマー調整ボタン  を押して、1、6、8、10時間のいずれかの時間を選択します。
※温熱治療で10時間に設定した場合、8時間が経過すると治療を終了し、保温機能が作動します。
※保温機能作動中は、温度が固定されるため温度調整ボタンは消灯します。

- 5 治療する範囲を変更する場合は、加温範囲切替ボタン   を押して、温熱治療（又は保温）をおこなう範囲（全身・足部）を選択してください。

- 6 頭を操作器側にして敷きふとん（治療部）の上に横になります。

※ご使用中は操作器に多少熱をもちますが、異常ではありません。



- 7 治療時間が終了すると、自動的に電源が切れます。
途中で治療を中止したいときは、電源ボタン  を「ピー、ピー」と音がするまで長押しして、電源を切ってください。

- 8 ご使用後は電源プラグを抜いてください。

低温やけどについて

比較的低い温度でも長時間皮膚の同じ箇所に触れていると低温やけどをおこす場合があります。また健康な大人のかたには適温でも、体質によって、熱く感じる場合があります。低めの温度に調節するなど取扱いに十分注意してください。

一般のやけどは皮膚の表層のみですが、低温やけどは、皮膚の深部および、赤い斑点や水ぶくれができるのが特徴で、このような場合には直ちに使用を中止し、専門医の診断を受けてください。

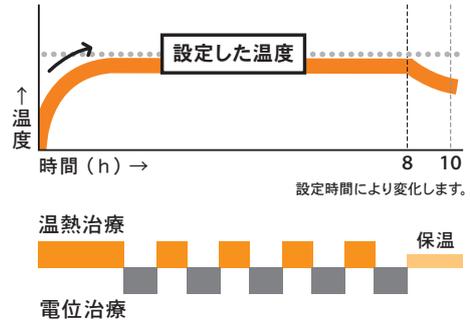
使い方

① 交互 電位・温熱交互治療

電位治療と温熱治療を交互に繰り返すモードです

敷きふとん（治療部）の表面温度を一定に保つため、温熱治療を優先しておこないます。

温熱治療運転中は、温度制御回路の働きにより、通電が自動的にオン（入り）オフ（切り）されます。交互治療中の電位治療は、温熱通電のオフ（切り）時に電位を出力することによっておこなわれます。



- 1 電源ボタン  を「ピッ」と音がするまで長押しすると前回設定した内容で、治療を開始します。
- 2 電位・温熱交互治療をおこなう場合は、交互治療ボタン  を押してください。「ピッ」と音がして交互治療ボタンのランプ（緑）が点灯し、治療を開始します。同時にタイマー表示ランプのいずれかのランプ（橙）、温度調整ボタン（橙）、加温範囲切替ボタン（橙）が点灯します。

設定後、30秒経つと電源ボタン  以外のランプが消灯します。
操作をおこなう場合は、電源ボタン  を押してください。
※長押しすると電源が切れます。

使い方

- 3** 治療温度を変更する場合は、温度調整 (▲▼) ボタンを押して、好みの温度に設定してください。

※設定温度に達するまで速暖機能が作動します。

※体調に応じてご希望の出力に設定してください。

※開始時のみ速暖が自動で入ります。(26ページ速暖機能参照)

- 4** 治療時間を変更する場合は、タイマー調整ボタン  を押して、1、6、8、10時間のいずれかの時間を選択します。

※電位は温度制御の温熱出力オフ(切り)時間に出力します。

※10時間設定した場合、電位・温熱の累計治療時間は8時間となります。

※10時間設定した場合、8時間を経過すると、交互治療を終了して保温機能が作動します。

※保温機能作動中は、温度が固定されるため温度調整ボタンは消灯します。

- 5** 治療する範囲を変更する場合は、加温範囲切替ボタン   を押して、温熱治療(又は保温)をおこなう範囲(全身・足部)を選択してください。

- 6** 頭を操作器側にして敷きふとん(治療部)の上に横になります。

※ご使用中は操作器に多少熱をもちますが、異常ではありません。



- 7** 治療時間が終了すると、自動的に電源が切れます。

途中で治療を中止したいときは、電源ボタン  (長押し) を「ピー、ピー」と音がするまで長押しして、電源を切ってください。

- 8** ご使用後は電源プラグを抜いてください。

使い方

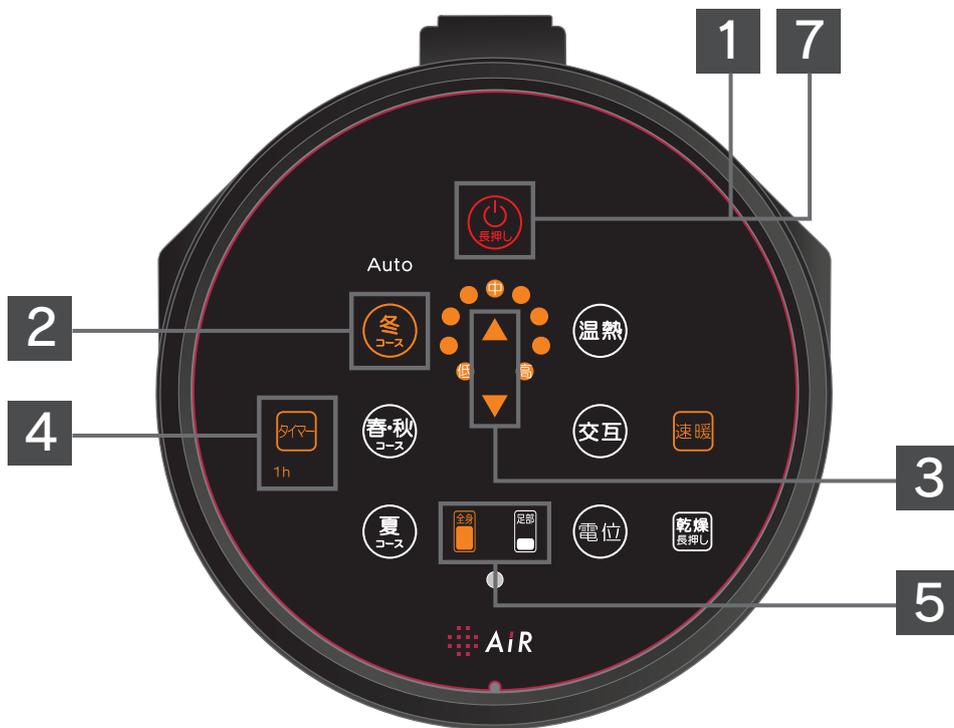
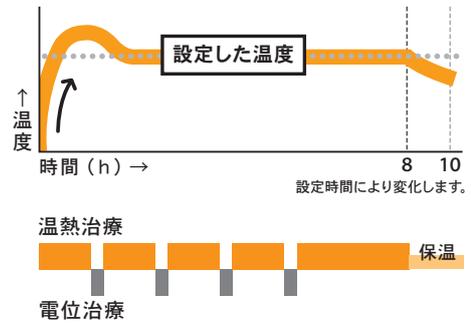
冬コース

冬におすすめのモードです

春・秋コースよりも交互治療中の温熱治療時間が長くなります

タイマー調整ボタン  で6時間又は8時間を選択した場合、あらかじめ決められたプログラムにより次の順番で電位又は温熱治療をおこないます。

- ・温熱治療1時間→電位・温熱交互治療3～5時間→温熱治療2時間
- ・電位・温熱交互治療は温熱4分、電位1分を交互に出力します。



- 1 電源ボタン  を「ピッ」と音がするまで長押しすると前回設定した内容で、治療を開始します。
- 2 冬コースをおこなう場合は、冬コースボタン  を押してください。「ピッ」と音がして冬コースボタンのランプ (橙) が点灯し、治療を開始します。同時にタイマー表示ランプのいずれかのランプ (橙)、温度調整ボタン (橙)、加温範囲切替ボタン (橙) が点灯します。

設定後、30秒経つと電源ボタン  以外のランプが消灯します。操作をおこなう場合は、電源ボタン  を押してください。
※長押しすると電源が切れます。

使い方

- 3** 治療温度を変更する場合は、温度調整（▲▼）ボタンを押して、お好みの温度に設定してください。

※設定温度に達するまで速暖機能が作動します。

※体調に応じてご希望の出力に設定してください。

※開始時のみ速暖が自動で入ります。（26ページ速暖機能参照）

- 4** タイマー調整ボタン  で1時間を選択した場合は、温熱治療のみがおこなわれます。また、タイマー調整ボタンで10時間を選択した場合は、8時間作動した後、保温機能が2時間おこなわれます。

※保温機能作動中は、温度が固定されるため温度調整ボタンは消灯します。

- 5** 治療する範囲を変更する場合は、加温範囲切替ボタン  を押して、温熱治療（又は保温）をおこなう範囲（全身・足部）を選択してください。

- 6** 頭を操作器側にして敷きふとん（治療部）の上に横になります。

※ご使用中は操作器に多少熱をもちますが、異常ではありません。



- 7** 治療時間が終了すると、自動的に電源が切れます。途中で治療を中止したいときは、電源ボタン  を「ピー、ピー」と音がするまで長押しして、電源を切ってください。

- 8** ご使用後は電源プラグを抜いてください。

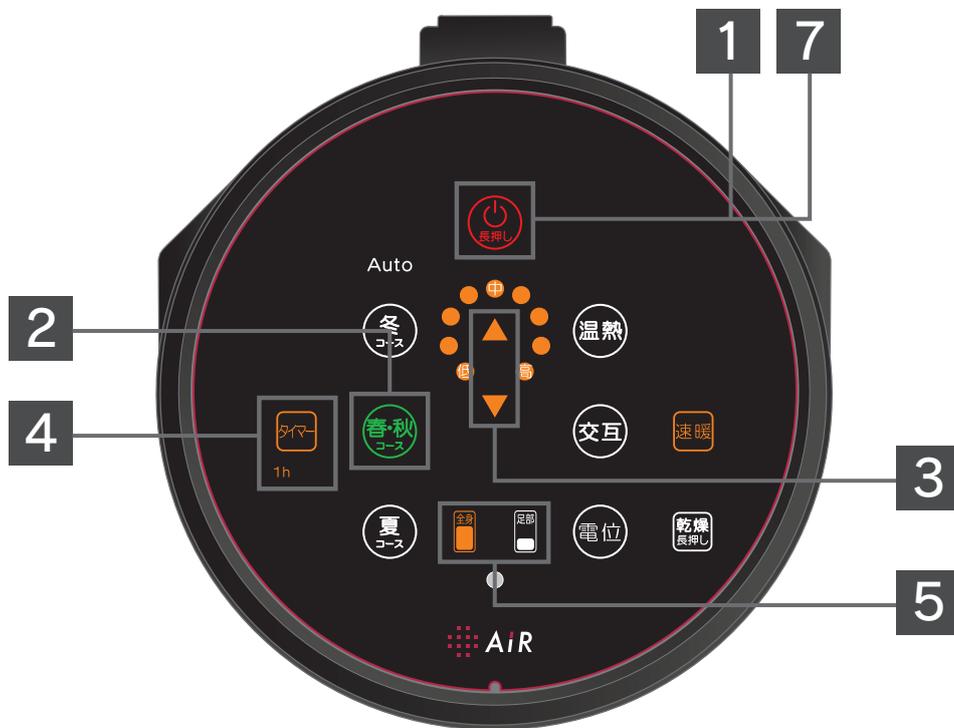
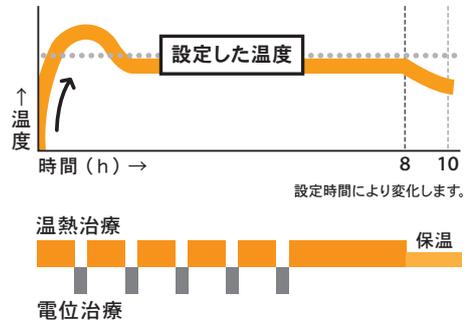
使い方

春・秋コース

春・秋におすすめのモードです

タイマー調整ボタン  で6時間又は8時間を選択した場合は、あらかじめ決められたプログラムにより次の順番で電位又は温熱治療をおこないます。

- ・温熱治療1時間→電位・温熱交互治療3～5時間→温熱治療2時間
- ・電位・温熱交互治療は温熱3分、電位1分を交互に出力します。



- 1 電源ボタン  を「ピッ」と音がするまで長押しすると前回設定した内容で、治療を開始します。
- 2 春・秋コースをおこなう場合は、春・秋コースボタン  を押してください。「ピッ」と音がして春・秋コースボタンのランプ (緑) が点灯し、治療を開始します。同時にタイマー表示ランプのいずれかのランプ (橙)、温度調整ボタン (橙)、加温範囲切替ボタン (橙) が点灯します。

設定後、30秒経つと電源ボタン  以外のランプが消灯します。
操作をおこなう場合は、電源ボタン  を押してください。
※長押しすると電源が切れます。

使い方

- 3** 治療温度を変更する場合は、温度調整（▲▼）ボタンを押して、お好みの温度に設定してください。

※設定温度に達するまで速暖機能が作動します。

※体調に応じてご希望の出力に設定してください。

※開始時のみ速暖が自動で入ります。（26ページ速暖機能参照）

- 4** タイマー調整ボタン  で1時間を選択した場合は、温熱治療のみがおこなわれます。また、タイマー調整ボタンで10時間を選択した場合は、8時間作動した後、保温機能が2時間おこなわれます。

※保温機能作動中は、温度が固定されるため温度調整ボタンは消灯します。

- 5** 治療する範囲を変更する場合は、加温範囲切替ボタン   を押して、温熱治療（又は保温）をおこなう範囲（全身・足部）を選択してください。

- 6** 頭を操作器側にして敷きふとん（治療部）の上に横になります。

※ご使用中は操作器に多少熱をもちますが、異常ではありません。



- 7** 治療時間が終了すると、自動的に電源が切れます。途中で治療を中止したいときは、電源ボタン  を「ピー、ピー」と音がするまで長押しして、電源を切ってください。

- 8** ご使用後は電源プラグを抜いてください。

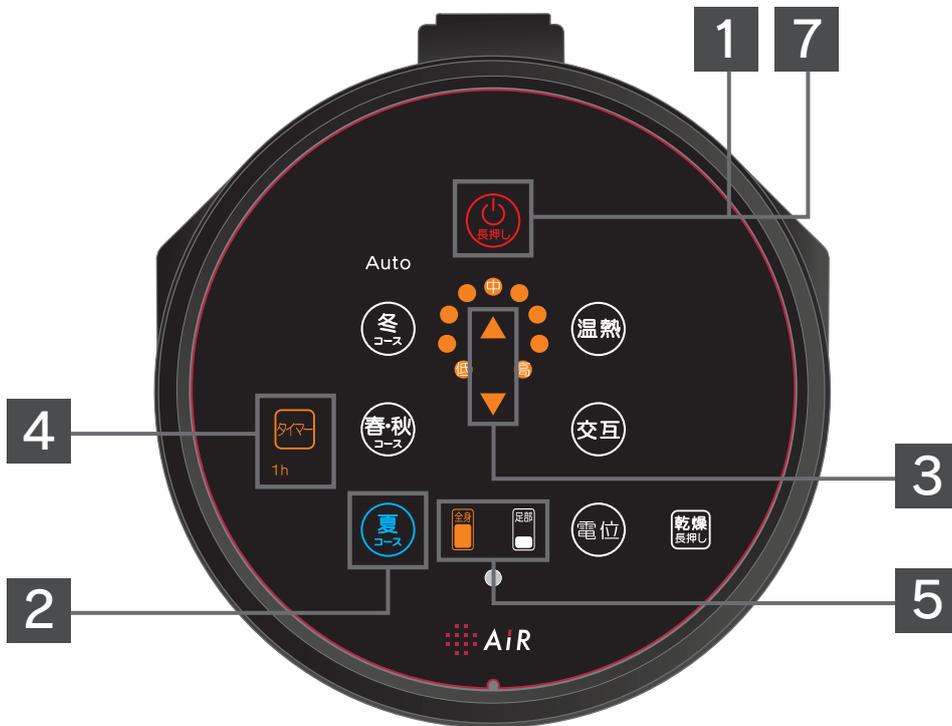
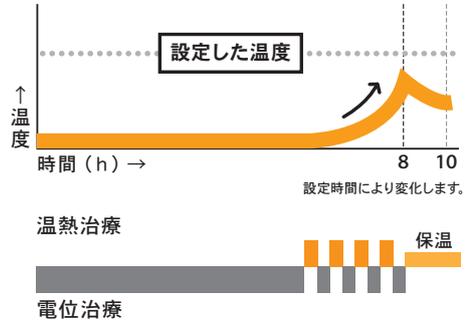
使い方

夏コース

初夏～夏におおすすめのモードです

タイマー調整ボタン  で6時間又は8時間を選択した場合は、あらかじめ決められたプログラムにより次の順番で電位又は温熱治療をおこないます。

- ・電位治療4～6時間→電位・温熱交互治療2時間
- ・電位・温熱交互治療は温熱1分、電位1分を交互に出力します。



1 電源ボタン  を「ピッ」と音がするまで長押しすると前回設定した内容で、治療を開始します。

2 夏コースをおこなう場合は、夏コースボタン  を押してください。「ピッ」と音がして夏コースボタンのランプ (青) が点灯し、治療を開始します。同時にタイマー表示ランプのいずれかのランプ (橙)、温度調整ボタン (橙)、加温範囲切替ボタン (橙) が点灯します。

設定後、30秒経つと電源ボタン  以外のランプが消灯します。操作をおこなう場合は、電源ボタン  を押してください。
※長押しすると電源が切れます。

使い方

- 3 治療温度を変更する場合は、温度調整（▲▼）ボタンを押して、お好みの温度に設定してください。

※設定温度に達するまで速暖機能が作動します。
※体調に応じてご希望の出力に設定してください。

- 4 タイマー調整ボタン  で1時間を選択した場合は、電位治療のみがおこなわれます。また、タイマー調整ボタンで10時間を選択した場合は、8時間作動した後、保温機能が2時間おこなわれます。

※保温機能作動中は、温度が固定されるため温度調整ボタンは消灯します。

- 5 治療する範囲を変更する場合は、加温範囲切替ボタン   を押して、温熱治療（又は保温）をおこなう範囲（全身・足部）を選択してください。

- 6 頭を操作器側にして敷きふとん（治療部）の上に横になります。

※ご使用中は操作器に多少熱をもちますが、異常ではありません。



- 7 治療時間が終了すると、自動的に電源が切れます。途中で治療を中止したいときは、電源ボタン  を「ピー、ピー」と音がするまで長押しして、電源を切ってください。

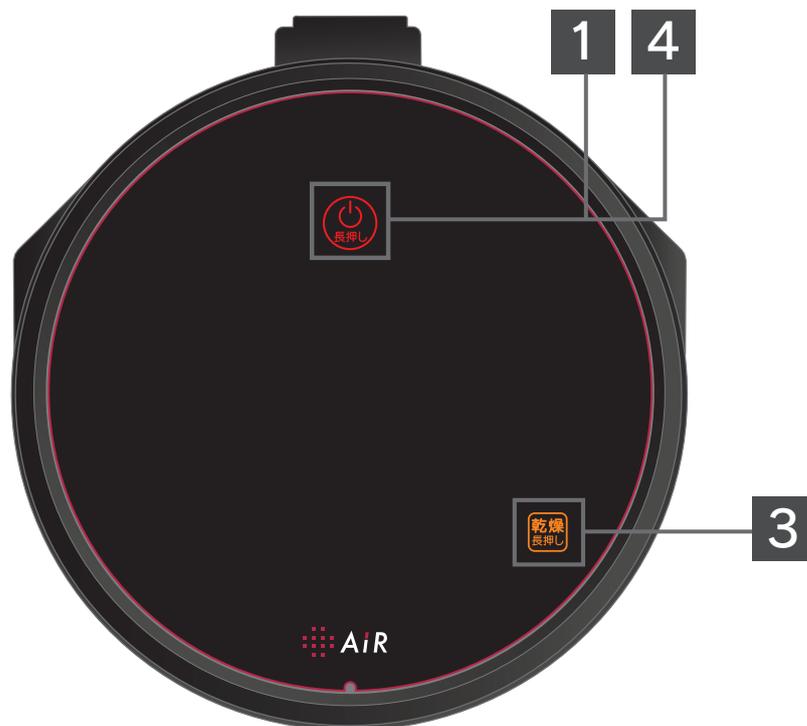
- 8 ご使用後は電源プラグを抜いてください。

使い方



乾燥機能

敷きふとん（治療部）を暖めて湿気をとる機能です



1 電源ボタン  を「ピッ」と音がするまで長押しすると前回設定した内容で、治療を開始します。

2 敷きふとん（治療部）に掛けふとんをかけてください。
※操作器に掛けふとんがかからないようにしてください。

3 乾燥ボタン  を長押ししてください。
治療を終了し、乾燥機能が3時間おこなわれます。
※運転中は「ピピッ」音が鳴ります。
※運転中や運転直後にふとんの中に入らないでください。



使い方

- 4 乾燥時間が終了すると、自動的に電源が切れます。
途中で乾燥を中止したいときは、電源ボタン  を「ピー、ピー」と音がするまで長押しして、電源を切ってください。
- 5 ご使用後は電源プラグを抜いてください。
※乾燥機能は前回記憶しません。

速暖機能

温熱治療開始時に、設定温度より敷きふとん（治療部）の温度が低い場合に速暖機能が自動的に作動します。敷きふとん（治療部）の温度が設定温度に達すると自動的に作動を停止します。以後は通常の設定温度で敷きふとん（治療部）を暖めます。

※温熱治療開始時に、設定温度より敷きふとん（治療部）の温度が高い場合は速暖機能は作動しません。速暖機能をご使用になりたい場合は、速暖ボタンを押してください。設定温度+5℃で15分間速暖機能が動作します。

※速暖を停止したい場合は、速暖ボタンを再度押してください。速暖を止め、通常の設定温度で敷きふとん（治療部）を暖めます。

調光機能

周囲の明るさにあわせて、表示ランプの明るさを自動で調整する機能です。

- 1 周囲が暗くなると15秒後にすべての表示ランプを暗くします。



- 2 周囲が明るくなると2秒後にすべての表示ランプを明るくします。



異常のときは

機器に異常が生じた場合は、操作器のランプが点滅し、異常状態を下記のようにお知らせします。尚、運転はすべて停止します。

点滅ランプ	想定される異常発生原因
温熱	主に、高温異常検知回路が作動したとき
冬コース	主に、低温異常検知回路が作動したとき
電位	主に、断線検知回路が作動したとき
夏コース	主に、コネクタはずれ検知回路が作動したとき

※なお異常状態が生じた際には、一度電源プラグをコンセントから抜き、再度電源を入れ直してください。一時的な誤作動等の異常状態であれば正常復帰します。

正常復帰しないときは、操作器裏面の定格シールに記載の製造番号をご確認の上、お買上げの販売店又は西川株式会社お客様相談室にご連絡ください。

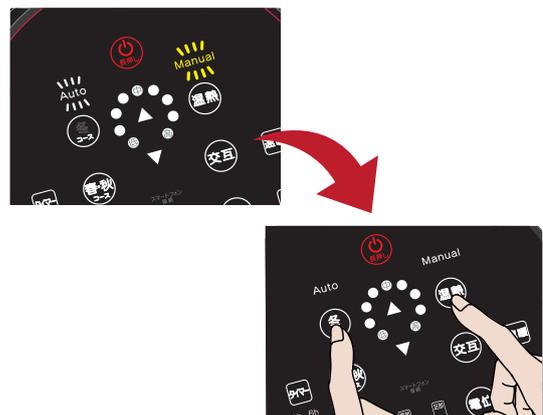
※長年の使用や、しばらく使用しなかった場合は、お買上げの販売店又は西川株式会社お客様相談室へ点検を依頼してください。

※電源コードが破損した場合、お買上げの販売店又は西川株式会社お客様相談室へ連絡して正規品と交換してください。

お知らせ機能について

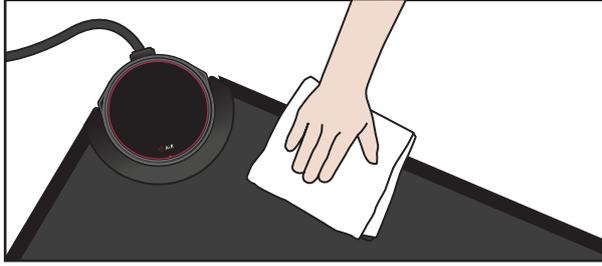
電位、温熱の累計使用時間を記録し、一定時間以上使用するとお知らせする機能です。

- (1) 一定時間ご使用になると、「Auto」「Manual」のランプが交互に点滅します。
- (2) 商品に関して不都合やご質問がある場合は、お買上げの販売店又は西川株式会社お客様相談室へご相談ください。
- (3) 「冬コースボタン」と「温熱治療ボタン」を同時に5秒間長押しするとランプの点滅が解除されます。



お手入れ・保管方法

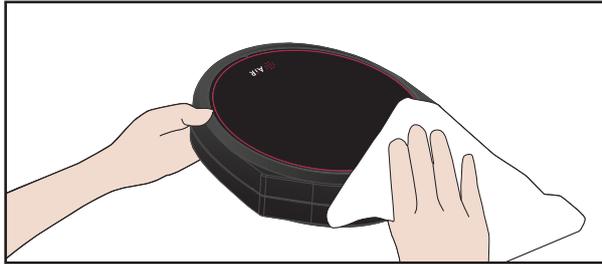
敷きふとん (治療部)



汚れは…

- ・うすめた中性洗剤をつけた布で洗浄してください。その後、よくしぼった布等でふきとり、自然乾燥させてください。
- ※直射日光をさけ、必ず陰干ししてください。

操作器

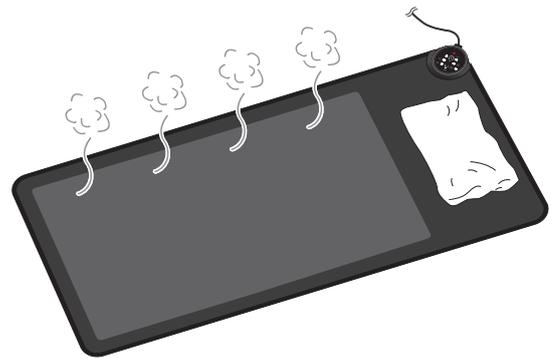


- ・柔らかい布でからぶきしてください。
- ・汚れがひどいときは石けん液を少しふくませた布でふきとってください。
- ・年に一度は電源プラグ (金属部間) のからぶきを (絶縁劣化防止のため) してください。
- ・シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。(変色などの原因になります)

1 操作器にコードを巻きつけないでください



2 湿気は十分に乾燥させ、表面のほこりを取り除いてください
濡れた場合軽く布でたたくようにふき、陰干ししてください。



3 ふとんなどの一番上に保管してください

保管するときは湿気を避けてください。
防虫剤は使用しないでください。(敷きふとん (治療部) を痛める原因)



⊘ 事故や故障の原因

洗濯またはドライクリーニングを行わないでください。

故障かなと思ったら

■修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

症 状	確 認
電源が入らない	操作器がマットケースに確実に差し込まれていますか。 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか。 電源ボタンを長押ししていますか。
暖かにならない	電位治療に設定されていませんか。 夏コースに設定されていませんか。 電源プラグがコンセントからはずれていませんか。
温度が低い	設定温度表示が低く設定されていませんか。
温度が高い	設定温度表示が高く設定されていませんか。
操作音がならない	電位ボタンを「ピッ」となるまで長押ししてください。

上記の点検後なお異常がある場合

- ・ 操作部損傷のとき
- ・ 電源コード及び電源プラグのすりきれ、やぶれ、傷のとき
- ・ 敷きふとん（治療部）の中が異常に硬くなったり折りぐせ、よじれなどが出たとき
- ・ 敷きふとん（治療部）・電源プラグが異常に高温のとき
- ・ 操作器から異常音が発生したとき
- ・ 操作器を濡らしてしまったとき
- ・ その他普段と違ったとき

お 願 い

この様な場合、事故防止のため必ず販売店又は西川株式会社
お客様相談室に点検・修理を依頼してください。

定格・仕様

定格電圧	AC100V、50/60Hz
定格消費電力	温熱：130W 電位：5W
タイマー	1/6/8/10時間 4段階設定
温熱治療／表面温度 [※]	最大53℃
電位治療／電位出力(実効値)	600V
包装	梱包箱に1台
保守部品のメーカー保有期間	製造中止より7年
医療機器認証番号	303AKBZX00062000

※温熱治療／表面温度は、JIS C9210に基づいて標準品を測定した結果です。

保証とアフターサービス

保証書は必ず「お買い上げ日と販売店名」など、所定事項を記入してお買い上げの販売店からお受け取り頂き、取扱説明書の内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

■保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

- ・保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ・保証期間経過後の修理についても、お買い上げの販売店にご相談ください。
機能が維持できる場合は、お客様のご希望により有料で修理いたします。

本器に異常のある場合は、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対におやめください。アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店又は西川株式会社お客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせ先

西川株式会社

お客様相談室 ☎ 0120-36-8161
受付/平日AM10:00~PM5:00(土日祝日・年末年始除く)

販売元



製造販売元及び製造元

NR 株式会社 日本理工医学研究所